

県議がつくった

石川の財政〈第28号〉

北陸新幹線加賀温泉駅及び小松駅開業の光と影
(新幹線効果を県民全体に行き渡らすために！)

石川県議会議員

むろや

室谷ひろゆき



◎ 北陸新幹線金沢 開業（2015年東京～金沢まで）に伴い

JR北陸本線は並行在来線として、JR西日本から経営分離されました。

⇒ 又、来年、春の北陸新幹線加賀温泉駅開業時に並行在来線は、
金沢駅～大聖寺駅間も経営分離されます！

→ 在来線は、学生の通学や車を持たない方等の通勤など、県民の経済活動や日常生活を支える公共交通であると同時に、新幹線駅から各地を巡る観光客にとっても大切な交通手段であります。

県としては、JR西日本から経営分離された後も、地方の足（交通手段）としてしっかり維持して行かなければなりません。

IRいしかわ鉄道 並行在来線 をオール石川で支えていく！



問

経営安定策 は、どうなっているの？

IRいしかわ鉄道へ	石川県	市町	民間	計
出資総額	21億円	7億円	2億円	30億円

その他、県や市町は、料金値上げ抑制や乗継割引支援、金沢駅から大聖寺駅延伸後の設備投資、災害復旧等の財源を確保するため運行支援基金を負担していきます。

県 25億円	沿線都市 10億円	利用関係市町 15億円
--------	-----------	-------------

問

現在の在来線旅客流動状況はどうなっているの？（～大聖駅まで）

通学定期	39%	20,895人
通勤定期	31%	16,982人
定期外	30%	16,435人



在来線を使っての福井方面との乗り継ぎ利用者は、
一日約3,100人います。

問

その他の課題はどうなっているの？



○ 無人駅の増加。

社員配置駅は県内では、加賀温泉駅を含む5駅のみとなります。
残り14駅は無人駅。（加賀市内では大聖寺駅と動橋駅が無人駅）

○ 厳しい経営。

IRいしかわ鉄道(石川県や市町も出資)が経営を引き継ぎますが、収支見込みでは、大聖寺駅までの延伸後、10年間の県内全体区間の赤字は42億円程度と見込まれます。そのため行政としても、さまざまな支援を行ない地方の足の確保、そして、安全こそが最も重要なことである点を考慮して、経営の安定と業務の効率化に取り組んでいく方針です。

○ 新幹線加賀温泉駅延伸は南加賀にとってビッグチャンスですが、その一方、今まで直通で来られていた加賀温泉郷の最大のお客様である関西・中京のお客様が、大阪開業までの数十年間乗り継ぎをしなければならなくなります。

（直通の特急列車は無くなることによって、敦賀駅で乗り換えるからです。）

上記の課題を、少しでも緩和するために!!

2023年第1回県議会における私の議会質問

質問1 (室谷)

加賀3駅の利用者への格差を解消せよ。

現在、金沢発加賀方面への在来線の普通列車は42本ありますが、そのうちの約半分18本が、小松駅止まりとなっています。

つまり在来線を利用している加賀市在住の県民にとっては、本数や最終列車の時間などで大変不便を感じています。

そのため、加賀市内に住む車を運転できない学生や、車で通勤しないビジネスマン、在来線を利用して加賀市へ向かおうとする観光客に格差が生じております。

通学通勤で日常的に料金の高い新幹線を利用することは難しい。

県の調査によれば、加賀市内にある動橋駅、加賀温泉駅、そして、県南端の大聖寺駅これら3駅の1日当たりの乗車人数は平均およそ3,000人います。

来年春以降、特急列車が無くなることにより、退避が不要になることなども活かし、これまで金沢～小松駅止まりだった在来線18本のうち、もう少し加賀の県民の通学通勤等の利便性に配慮した見直しを知事に要望する。問う。

知事答弁

新たな経営計画では、普通列車の現行本数を維持することを基本に、朝夕の通勤通学客の利便性や新幹線との乗り継ぎなどに配慮したダイヤ編成を検討することとされています。具体のダイヤについてはIRいしかわ鉄道に於いて新幹線のダイヤや経営の影響等を踏まえるとともに加賀市を含めた沿線地域住民の利便性に配慮しながら編成してまいります。

室谷の目指すこと!

→ 加賀温泉郷全体を宿泊地から観光地へ

お客様が市内近郊を訪れ、お金を使って戴くことが重要!!



- ☆ 大聖寺城下町への散策
- ☆ 九谷焼や漆器の産地への誘客
- ☆ 地元料理店への観光客の誘導
(ブランド蟹など、食の魅力PRの充実を)



質問2（室谷）

敦賀乗り換えのマイナス解消を。

現状ではかなりの年月、北陸新幹線は敦賀止まりが続くこととなります。これまで、関西・中京から直通で加賀温泉郷をはじめとして県内へ来てくださった一番のお客様方が、今後、敦賀乗り換えによって、避けるような事態は何としても防がねばなりません。実行プランに挙げているPRと併せて、関係各方面と連携しながら工夫していくことが肝要と考えます。問う。



知事答弁

乗り換えの機会を活用し、その先の旅のわくわく感を高める工夫として、旅の魅力を発信するためのデジタルサイネージ等の配置をJRや鉄道運輸機構に働きかけている。景観など新幹線に乗ること自体の楽しみや、新幹線から乗り継いでゆっくりとした観光列車等に乗る楽しみを積極的にアピールしたい。加えて、今後、北陸三県連携で大阪駅隣接の大型複合施設内に設置する情報発信拠点や、名古屋観光物産案内所においても積極的にアピールすることで、関西・中京圏からの誘客拡大に繋げてまいりたい。

質問3（室谷）

北陸新幹線は、大阪延伸してこそ！

来年、新幹線新駅となる加賀温泉駅近郊には、山代・山中・片山津・粟津の加賀4温泉が有り、古くから関西の奥座敷として関西・中京のお客様が特急列車を利用して数多く訪れてくださっています。

北陸新幹線は、今後しばらく敦賀乗り換えが続くことになっています。北陸そして関西の皆様のためにも、北陸新幹線は、大阪まで延伸してこそ大いなる意義があります。問う。

知事答弁

敦賀以西区間の令和5年度当初の着工が先送りされたことは大変遺憾ではありますが、令和5年度の政府予算案において、従来、工事实施計画の認可後に行っていた調査も含め、施工上の課題を解決するための調査等を先行的、集中的に実施するための予算が計上されました。

この予算による調査を通じて、施工上の諸課題の解決に一刻も早くめどをつけるとともに、建設費や地方負担、工期などに関する具体の数値を明らかにした上で議論を深め、一日も早い全線整備を実現していただきたい。

県としては、北陸三県はもとより、関西圏を含めた沿線地域で一致団結して、大阪までの早期全線整備に向けて力強く取り組む所存であり、政府・与党に対してスピード感を持って取り組むとともに開業までの道筋を早期に示すよう求めてまいります。

広域観光の推進

観光のお客様に各地を訪れて頂き、お金を使っていただくために！

市民から・・・
『いつ完成するの？』と
問い合わせの多かった…
山代栗津線については、 昨
年、地元まちづくり推進協議会
らと共に知事要望を行った。そ
の後、議会で質問要望した結
果、新幹線開業までをめどに着
工をするとの知事答弁をいただ
き、現在、急ピッチで工事が進
んでいます。



現在、急ピッチで進んでいる山代栗津線から小松へ向かう小松山中線
についても、加賀市区長会連合会等より『進んでいないのではないか』
とのご指摘もあり、これらが整備されてこそ広域観光がよりスムーズに
なるとの考えで、議会で質問要望しました。

質問4（室谷）

小松山中線（栄谷町間）の速やかな整備を進めよ！

小松山中線は加賀温泉郷と小松を結び、沿線には那谷寺などの観光施設に加え、宇谷野工場団地が立地しており、観光バスやトラックなど、大型車も利用する道路であります。

しかしながら、小松市那谷町から加賀市栄谷町間については、幅員が狭く、歩道も未整備であることから、通行に支障をきたしています。また、災害や大雪時に国道8号が通行止めとなった際には代替道路となることから、安全な通行の確保に向け拡幅整備が必要と考えます。問う。

知事答弁

小松市那谷町から加賀市栄谷町間については、幅員が狭く、歩道も未整備であるため、来年度、拡幅に向けた設計に着手します。



⇒ 県のとりくみ

新幹線加賀温泉駅および小松駅開業を一過性のものでなく持続的に、お客様を呼び込み、人口減少による県内消費の減少を観光客等によって補い、経済を活性化させるために、下記のようなとりくみをしています。

今後の方針

- ① 文化観光の推進 → 受け地の魅力づくり。
- ② 新幹線新駅を核とした誘客 → 効果的な情報発信。
- ③ 北陸三県連携 → 誘客キャンペーンの実施。



2023年 第1回議会にて、下記予算などを可決しています。

ア、選ばれる観光地としてのブランド力の強化。

〔 人材の育成・誘客イベントの開催。
文化観光素材の発掘磨き上げetc 〕



イ、北陸三県連携による誘客の促進。

〔 大手旅行会社との連携による全国的誘客キャンペーン。
現地メディアの招聘etc 〕

ウ、誘客キャンペーン。

〔 広域ガイドブックの発行。
本県ゆかりの企業や映画等の連携によるPR。 〕

エ、戦略的な誘客。

〔 スポーツ、アウトドア、産業観光などの
観光コンテンツ支援、コンベンションの誘致。etc 〕

オ、海外誘客の推進（アフターコロナに向けて。）

カ、SNS・スマホ・ビッグデータを活用した誘客プロモーション。

※ 今回の県議会質問等は紙面の都合上、一部抜粋となっています。

〔 又、28号で取り上げたことについて詳細を知りたい方は、ホームページをご覧ください。 〕



県議が作った石川の財政 第28号

2023年

県議会：金沢市鞍月町1-1

TEL076-225-1027（代）

住所：加賀市山代温泉14の67

TEL0761-77-7839



〈討議資料〉

むろや